

≪カンボジアニュースレター No4.≫

2016年 7月後半から8月末帰国前まで

「この川の流れゆくところ、ものみな生くべし(文語)：この川がはいる所では、すべてのものがいきる。」(新改.エゼキエル47:8~12)

数日前、朝の目覚めと共に心に届けられた御言を冒頭に第4回目のニュースレターをカンボジアからお届けできますこと嬉しく感謝いたしております。長いようで短いという表現通り、正にこの度の宣教視察旅行も瞬く間に終りが目前に、となりました。

7月後半は特に巡回が2箇所許された事もあり、地方教会の伝道者の戦いの厳しさは聞くに勝る現状視察でした。先月はアンコールワットのあるシエムリアップ地方と、帰り道にカンポンチャンという場所にある教会を訪問できました。シエムリアップのホテルに一泊(と言っても一泊15ドルで、朝食付きという恰好の宿泊場)視察した教会のすぐ前にあるため、楽でしたが、この度はVandy師が息子さんのダビデ君を幼稚園に預けての旅行でしたので、車で2時間半程で往来できるカンポンチュナン(陶器の町)にある二つの教会を訪問し(写真は教報9月号に掲載)、その足でLeak牧師の農地(5ヘクタールの森の地を購入し、その内、3ヘクタール程開墾してサトウキビを植えて、第一回の収穫を10月頃に期待している)を視察するべく立ち寄りしました。



左の写真は教会の庭で蛇の丸焼きを見てリアック牧師が面白がって網から一匹取り上げて私に「おいしそう!」と見せてる所です。

7月の始めに近くのヴィレジ(貧民街)にすむ病気の父親をもつご家庭にての聖書の学びをするように導かれてスタートしました。カマイ(カンボジア語、)しか通じないので私の出る幕はないのですが、Vandy師やその家族を励ます意味でいつも同行する事にしております。



7月も終わろうとする時、愈々、婦人伝道師霊

修会の準備の最終的会合をもちました。レイシー夫人とグレッグ先生ご夫妻に加えてリアック牧師も食事当番として一切を受け持って下さるとヴォランティアの申し出を下さいました。カンボジアのクリスチャンは僕となる精神は理解できないという習慣(男性が掃除、洗濯、台所などをするのをみられたら恥ずかしい、という社会通念)から脱却すべき、と自ら模範を見せてのクリスチャン習慣の改善の協力者として加わって下さいます。主の御祝福を御祈り下さい。(※この記事を書いている時、リアック牧師が腰痛の為、一時は手術、という医者診断で試みられましたが、日本でも御祈りをもって助けを仰いで頂き、結局は医師がお金儲けの為に手術、と宣言しただけで、恐らくぎっくり腰ではないか、と手術は断る事になりました。



地方巡回も何箇所か許されて、その生活と献身の生涯が予想以上に厳しい事を見せて頂き、そうした中からの出席は予想以上に大変な旅になる方々もあり、一人では出席できないのでご主人の協力がないと、という事も分り、果たして何人の方々が出席できるか、又、プノンペン市内の牧師夫人方もお仕事を持っていますので、お休みが取れない方も何人かおられるので、心痛む

事です。休暇をとるように願いでたけど難しい、という方もあり、厳しい霊の戦いにあることをひしひしと感じますが、なお、主を仰いでおります。御祈りを宜しくお願い申し上げます。



最後に私の生活の一コマ、蠅取り合戦の写真を付け加えて御祈りへの感謝に代えさせていただきます。

室内バドミントン?ではありません。「電池蠅取り機」です。

「来た!」「エイ!」とばかり撃ちますと、パチッと弾けるような音がして、床に電気ショックでバタバタしている蠅を探して最後のとどめを!! 簡単のようで結構、上手に逃げられることのほうがしばしばです。でも、大分熟達してきました。(苦笑)

以上でニュースレター4号を終わらせて頂きます。8月25日の夜にプノンペンからタイに向けて飛び発ち、タイで待機して、夜中のフライトで成田に向かいます。足の痺れの為にフラットシートのチケットが入手でき、帰りは足を延ばして座ることができる、との事で感謝します。

痛みはないのですが、痺れの為に足の感覚がないまま歩きますので、転んだり躓いたりがないように、と気をつけております。

充分な働きが出来なかった3ヶ月(Vandy先生の子供さんの病気の為に私の巡回視察旅行が全部廻りきれず、、、)然し、主のご計画は思わぬ方向に進められた3ヶ月でもあり、主の御計画と私達の計画は正に東が西に遠きが如し、である事を領かせて頂き、結局は御手の中に落ち込んで生きる、これが最高の祝福である事を領かせて頂きました。神の灯火はなお消えず、と教報の9月号に御報告致しておりますので、ご覧頂き、今後、どのように宣教の働きを進めるべきか、神の御手の中にある川の流れは神の御心のままに流れる事ですので、なお、希望を主にあつて保ち続けて行かせて頂きます。御祈り下さいましたことを感謝申しあげつつ、今後の為にも引き続き、御祈りの御労を宜しくお願い申し上げます。

皆様方の上にも主の御祝福を御祈り申しあげつつ。

在主、
葛田緑乃

《祈祷課題》

★最後の最後まで健康が支えられますように、特に色々な菌が蔓延している国で、今回はダビデ君の為に(1週間、9度5分以上の熱が続き心配しましたが、緊急祈祷願いをお願いした教会や教会員の御祈りにより、2週間の治療の結果、癒されましたが、Vandy先生も昨日、お腹を壊して梅干しを貰いに来られました。梅肉エキスを持参するのを忘れた事、本当に悔やまれましたが、梅干し、そして御祈りによる癒しを感謝します。

★レアック牧師の腰の痛みの癒されるように、又、私の痺れも相変わらずですが、無事に帰国できますこと、信じて祈っております。

★重ねてお願いしたい事は婦人伝道者の霊修会に御霊の御臨在が豊かにみられ、変貌の実が拝されるよう御祈り下さい。出来る限り多くの出席者が与えられますように。